



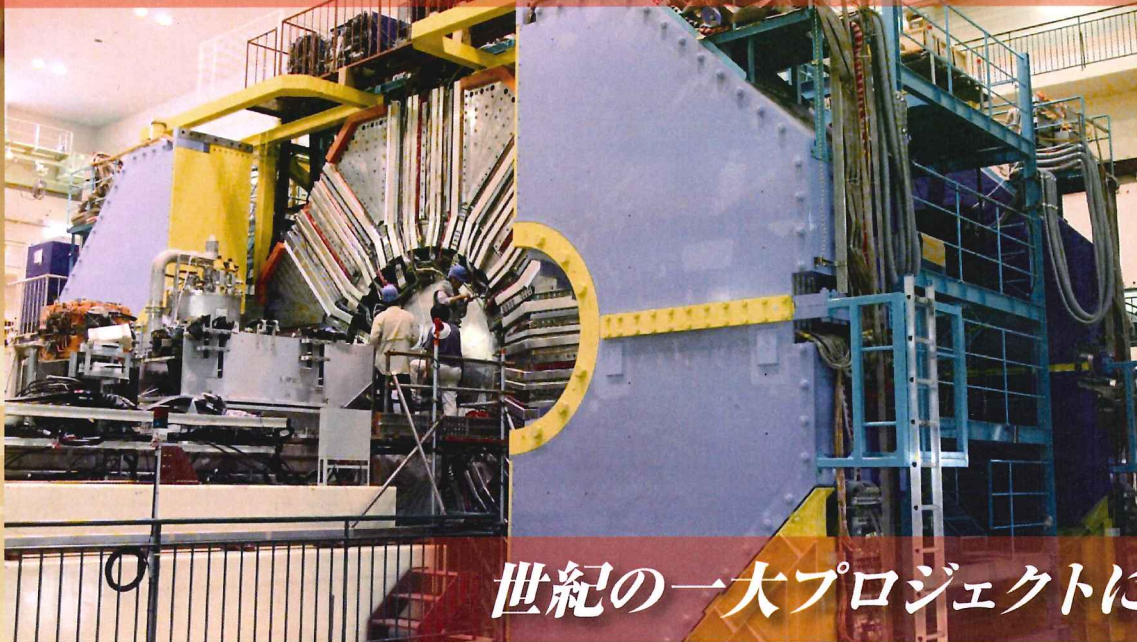
かながわ国際交流財団
湘南国際村アカデミア



総合研究大学院大学
サイエンス・カフェ

素粒子の 対称性とその破れ

小林・益川理論のノーベル賞受賞を可能にした



世紀の一大プロジェクトに迫る

Belle 測定器 素粒子の対称性の破れを発見し、その成果が2008年の小林・益川両博士のノーベル賞受賞につながった。



講師：山内正則

総合研究大学院大学教授
高エネルギー加速器研究機構
素粒子原子核研究所教授

[講師プロフィール] 理学博士(東京大学)。高エネルギー物理学研究所(当時)助手などを経て2000年から現職。素粒子物理学を専門とし、この10年はBファクトリー実験とその将来構想に専念。

素粒子を理解するキーワードのひとつは対称性です。特に粒子、反粒子の間の対称性は宇宙にはなぜ反物質が存在しないかという問題とも絡んで大変興味深い問題です。

近年国内でこの研究について大きな進展がありましたので、その話題を中心として、素粒子の対称性とその破れについてお話しします。

2010年6月26日(土)

湘南国際村センター 第2研修室

参加費 / 600円(高校生以下無料)
ソフトドリンク・お菓子付き

定員 / 35名(先着順)

お申し込み・問い合わせ

(財)かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター
E-mail: academia@kif.ac FAX:046-858-1210

お茶とお菓子を楽しみながら、リラックスした雰囲気です物理学への理解を深めませんか

主催：かながわ国際交流財団 総合研究大学院大学